



新年のご挨拶

とく なが おさむ
院長 徳永 修



新年あけましておめでとうございます。2026年も当院職員が一丸となって、地域の皆様に良質で安全な医療・福祉サービスを提供できるように努力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、2025年もさまざまな変化に遭遇する一年でした。政権の枠組みが変わり、初の女性首相が誕生しました。お米を含め、物価が高騰し、病院経営にも大きな痛手を受けました。

外国人観光客やわが国で就労する外国人が増加し、その受け入れに関わる課題にも直面しました。夏には、これまで想定していなかった異常な高温の日々が続きました。大規模な火災や強い地震などの自然災害にも見舞われました。さらには、全国各地でクマ被害が増加し、当院の近隣においてもクマの出没情報がありました。

このような、これまで想像していなかった変化に次々と遭遇する中で、私たちも自分自身を守ることと精一杯となり、周りとともに過ごす人たちの思いやりやさしさやゆとりを失くしてしまったようにも感じます。

当院では慢性に経過する疾患や重い障がいとともに生きる方たちを対象として専門的な医療・福祉サービスを提供しています。当院が地域社会から期待されている役割を果たしていくためには、当院の所属するすべてのスタッフがその専門性をさらに向上させるために常に研鑽を重ねるとともに、当院を頼りにしておられる患者さんとそのご家族の生活の状況を理解し、生活の中で実感しておられる「つらさ」や「しんどさ」をしっかりと受け止め、当院が提供すべきサービスの内容を丁寧に検討することが重要であると考えます。

これまでに予期しなかった変化に遭遇する時代であるからこそ、自分だけではなく、自分のまわりとともに生活をする多様な方々の生活を思いやり、みんながそろって困難な局面を乗り越えることができるような想像力とやさしさを持ち続けたいと思います。

病院としても経営の難しさ、人手不足など様々な困難に直面する状況にありますが、当院に寄せられている期待、当院が果たすべき使命を常に認識しながら、地域の皆様にとって欠かすことができない医療機関、また、当院に勤務するすべてのスタッフにとっても働き甲斐のある医療機関となるように、病院運営にあたって参りたいと思っています。

引き続き、南京都病院に対して温かい眼差しをもって応援頂きますよう、お願い申し上げます。